

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ア) 総合相談支援事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>総合相談支援事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>3 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取り組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： ローラー作戦を通じて、地域の中で困っている人を早期発見し、支援につなげることで、そのプロセスの中で地域を知り、また地域住民、関係機関との顔の見える関係をつくることを目標です。</p> <p>内容： 定期参加中の刀根山校区ローラー作戦に地域の関係機関を新たに呼び込みました。また障害者相談支援事業所とともに走井地区ローラー作戦を新たに開催しました。ローラー作戦を通じて、新たに支援につながる地域住民に出会うことができました。新たな関係機関を呼ぶことで、重層的支援体制の拡充・構築にもつなげることができました。異なる地域でローラー作戦を実施することで地域性の違いを新たに実感することもできました。「ちょうどよいところに来てくれた」、「包括のことを知って良かったです。近所の人にも教えてあげます」等々、好意的な声を数多く聞くことができました。ただ、専門機関のみでの実施となり、地域の民生委員や校区福祉委員とともに回るができなかったため、目標達成とするには十分ではありませんでした。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>多職種・様々な福祉施設等の参加による戸別訪問を行うローラー作戦が実施されており、潜在的な課題を有している利用者発掘につながっています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>圏域内の専門職や福祉施設と連携・協働する機会の増加により、重層的支援が必要なケースへの迅速な対応につながっています。</p> <p>【課題】</p> <p>重層的支援に対応できる関係機関等との協力体制の充実に期待します。</p>

令和7年度 柴原地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・異なる校区でローラー作戦を実施した結果、改めて個別訪問によるアウトリーチの有効性を実感することができました。	
	<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域住民との連携体制強化を最も意識しつつ、障害、こども分野との連携にも積極的に取り組みます。	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

イ) 権利擁護事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>権利擁護事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 高齢者虐待や消費者被害を早期に発見し、予防できる地域づくりに取り組めます。</p> <p>内容： 高齢部会、地域教室、介護支援専門員勉強会など、地域住民、関係機関が集まる機会を活用して、高齢者虐待防止に向けて啓発活動を行いました。 また、介護支援専門員や地域住民などから消費者被害にあった、もしくはあうおそれのある高齢者の情報を得た時には、迅速に状況を把握し、警察やくらしかんと連携して対応しています。さらに日ごろ頃から、くらしかから送付される消費者被害関係の情報は速やかに圏域内のすべて居宅介護支援事業所やヘルパーステーションに情報提供し、注意喚起に努めています。加えて大阪府警の防犯アプリ「安まちアプリ」については、地域住民が集まる機会をとらえて、積極的にPRしています。</p> <p>これらの取り組みを実施することで、介護支援専門員からの高齢者虐待や消費者被害に関する相談が増えつつあるものの、昨今の詐欺グループによる被害の増加には対応しきれていないと実感しており、益々の対応強化や対策</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員を対象にした消費者被害問題の研修が予定されています。また、圏域内の事業所を対象に、高齢者虐待の早期発見への啓発が行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>介護支援専門員を対象にした弁護士による消費者被害問題の研修が予定されており、介護支援専門員が予防的アプローチにつながるよう取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <p>多様化する消費者被害問題への予防的アプローチの取組みの充実に期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>の工夫の必要性を実感しています。</p>	
		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止については、介護支援専門員と個々のケースを通じて、早期に必要な対応を行っているものの、依然として介護支援専門員からの相談件数が少なく、課題があると認識しています。 ・消費者被害防止については、介護支援専門員、ヘルプステーションとの情報共有はできているものの、民生委員やその他の地域住民への情報共有や注意喚起に向けた取り組みをさらに行う必要があります。 	
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員に対しては研修等を通じて、権利擁護の視点をいっそう確実に身につけていただけるよう取り組んでいきます。 ・消費者被害防止に対しては、更に広く地域住民に周知できる方法を考え、取り組みを行っていきます。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 「防災」を切り口にして、地域と関係機関、行政が連携するしくみづくりを行います。</p> <p>内容： 校区ごとに開催した高齢部会で防災をテーマに話し合い、平時より地域と関係機関が連携することの大切さや、顔の見える関係の構築について意見交換を行いました。部会で事業所マップを配布したことで、住民が地域の事業所について知る機会となり、身近な存在として感じていただくことができました。高齢部会をきっかけに、住民から事業所へ協力の要請を行ったり、地域の催しへの参加を促したりする校区も出てきています。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域の組織率や地域団体等の実働率の低下や、地域の防災体制に脆弱性が生じていることをふまえ、地域で防災に協力・協働できる事業所を含めた地域資源との関係性・体制の構築に取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域住民と協力事業所等が、直接つながることで、訓練や体制構築の充実が図られています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢部会以外で、地域と事業所がお互いの情報を交換できるような方法やそくみづくりが必要であると感じています。 	<p>【課題】</p> <p>事業所との協力体制や、地域住民のニーズをマッチングさせていく取組みの充実に期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに出向き、住民や事業所の意見を聞き取ります。また、地域と事業所の顔つなぎを行います。 ・地域と事業所がお互いにスムーズに情報共有できるようにそくみづくりを模索、提案していきます。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

エ) 介護予防ケアマネジメント事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>介護予防ケアマネジメント事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握につい</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 自立支援に向けたプランを立てる力が向上することをめざします。</p> <p>内容： 他地域包括支援センターと共同で介護支援専門員向けの法定外研修を開催し、介護予防領域における自立支援型ケアマネジメントについて学び、本人の意思決定支援の進め方や多職種連携の工夫について理解を深める研修ができ、参加者から具体的な事例で自立支援についての視点に気づけた等の感想をいただきました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員に対する資質向上研修を実施し、高齢者の主体性を引き出すための計画策定を学ぶ機会が提供されています。利用者への情報提供を工夫することで、利用者が主体的に動けるよう取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>意思決定支援に対する地域ニーズを受け止めた、啓発活動に取り組んでいます。</p>

令和7年度 柴原地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	て工夫している。	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域包括支援センターと研修内容についての話し合いを重ねました。 <p>今回の法定外研修は申込みの都合上、事務作業を他地域包括支援センターに行なっていただいたので、柴原包括支援センター主催でも法定外研修を実施できるようになると新たな広がりが生まれると考えています。</p>	<p>【課題】</p> <p>将来の意思決定に対する行動につなげられるようその実効性を担保する取組みに期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援ケアマネジメント、実践の質のさらなる向上に向けて、研修会や勉強会、事例検討会を行います。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症予防などにかかる啓発活動について、工夫を凝らした取組みを推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 認知症になっても本人や家族が安心して生活できる環境を整えます。</p> <p>内容： オレンジカフェにおいて後方支援を意識し、認知症サポーターや介護者家族の会・民生委員に働きかけて支援者、参加者の拡充を図ることにより、認知症サポーターによるカフェへの同行支援につなぐことができました。</p> <p>認知症当こと者の家族に対する支援として、「癒し交流の場」と「若年性認知症の方の集い」を開催することができ、家族支援の場を提供することができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>オレンジカフェへの同行支援により、参加者が参加しやすい体制を構築することによって、参加者の拡充につなげています。今年度家族支援として、オレンジカフェ以外の交流の場を立ち上げています。当事者・家族等の交流の場として、情報共有・情報交換が行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>当事者・家族等が直接つながる場として、交流を広げることで、当事者・家族が不安を軽減できる場となっています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェにおいては、開催者以外の支援者を増員して包括が後方支援に回る必要があります。 ・家族支援の場を継続することにより、定期的に参加できる場の提供が必要です。 	<p>【課題】</p> <p>今年度開始したオレンジカフェ以外の場づくりの取組みの充実を期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェの新規開催にあたっては、立ち上げ支援マニュアルを作成して後方支援の立場である旨をしっかり説明します。 ・認知症サポーター養成講座の開催や現役の認知症サポーターへの働きかけを行ない、支援者を増員できるようにします。 	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

カ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
6	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 通いの場のない地域に対し普及啓発します。</p> <p>内容： 地域の自治会の総会に参加させていただき、説明の場を設け、会場となる教会の協力を得て、隣接する施設を巻き込み、体験会を行ないました。参加者が集まらなかったため、外出しやすい季節になってから、配布するチラシにも目を通していただけるような工夫を凝らして、再度体験会を実施しました。</p> <p>【課題】</p> <p>・参加者が集まりにくかったのは、立地的に坂道が多い地域でもあり、会場への往復が難しかったことも考えられますが、教会だという宗教的特性のため参加するハードルがあったことも考えられます。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>自治会やボランティアなど地域住民の理解と協力を得ながら、新たな通いの場の創出につなげています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域資源を活用し、地域住民やボランティアの協力も得ながら取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <p>日ごろからの取組みにより、地域での介護予防への関心が増加していることから、新たな通いの場の創出につなげていくことを期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・体操や集会ができる条件の良い教会を利用させていただくためや、教会という宗教的な心理的ハードルをなくすためにも、気軽に参加できる様なイベントを行い、隣接する施設利用者家族にも広く広報できるように取り組めます。	
--	--	---	--